



東広会ニュース

5月号

2018年(平成30年)

Vol.167

発行所 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5
JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7928

E-MAIL info@tokokai.jp

第15回定期総会を開催

東日本鉄道東京広告会「第15回定期総会」を4月20日(金)16時30分から池袋のホテルメトロポリタン3階富士の間で開催した。加盟会社104社の代表が出席し、各種議案が審議され全て承認された。

総会終了後、会場を同ホテル3階富士の間に移し多くの来賓を招き懇親会を盛大に催した。

総会には、会員総数137社のうち104社が出席(含む委任状)し、2017年度事業・収支報告、2018年度事業計画・予算案、2018年度理事・監事選任が審議され承認された。

総会の冒頭、原口会長は「本日は新年度の大変お忙しい時期に「東広会」の総会にご出席いただきまして誠に有難うございます。

昨今の広告業界を見ますと、インターネットのコマニシャル、デジタルコミュニケーション分野においては、本当に著しい勢いで伸びておりまして、おそ

らく数年来その広告費はテレビの広告費を抜くだろう。あるいは統計の取り方によってはあるいはもうすでに抜いているだろう。

そういう勢いがありまして既存の媒体は概ね苦戦している中で我が守備圏の交通広告に関しては、一生懸命にその現状を少し上回ったり、少し下回ったりと健闘しているのが現状であります。

これは媒体社各位の「アヒルの水かき」であるとか、必死に見えない所でのご努力に感謝しております。一方で会員



定期総会で挨拶する原口会長

来賓を代表して挨拶する
新井健一郎 JR東日本常務取締役事業創造本部長

各位の皆様の大変な営業努力と何よりも皆様と付き合っていたいただいているクライアント様の根強い交通広告への支持というものが、下支えになって現在の我々の業界があると思っております。

その中で、昨年の第4四半期(1月・2月・3月)に関しては、当該守備圏のJR東日本の交通広告に関して、久々に非常にいい数字を上げることができました。会員各位の努力の賜物であると思っております。

「まだまだやれる・やればできる・やれば伸びる」状況を作り出したことは、大変嬉しく思っております。また、一方で今年度は山手線E235系新型車両の投入が相次ぎまして、全部置き換わるのは2019年度末になります。そろそろ過渡期から本質的にE235系新サイネージを販売していく時期に入ります。

最大の工事でもあります品川駅であるとか、そして何よりも渋谷駅の大改修が始まりまして、右から左に売れていた渋谷の大型サインボードがかなりの期間使えなくなり、JR東日本管内の交通広告についても、影響が出てくる年であると思えます。

「ピンチはピンチではありますが、ピンチをチャンスに変える」というのも我々の知見が大事でありますので、クライアント様の期待といろいろなご希望・ご要望に応えるべく会員各位が結束して頑張っていきたいと考えております。今後とも努力を賜りますようお願い申し上げます。今日はどうも有難うございました。」と挨拶があった。

総会は、東広会規約に基づき原口会長が議長となり議案審議に入り、星野

専務理事より各議案の説明が行われた。
 2017年度は、内外需ともに回復が続く3年連続でプラス成長が見込まれている。建設投資に加え省力化投資や情報化投資へのニーズの強まりに見られるなど企業業績の拡大は続いているものの、インターネット広告の急成長などコミュニケーション環境の変化の中で、交通広告需要においては厳しい状況が続いた一年であった。施策においては、交通広告の堅実な発展のために、委員会・分科会の積極的な活動に力を注いだこと、活動方針に沿って積極的な各種事業を行ってきたことが報告された。

2018年度については、堅調な外需や2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け景気は緩やかに拡大すると見込まれており、交通広告の新しい取り組みを積極的に推進するとともに、さらなる媒体価値向上と将来の交通広告の方向性を見出すべくチャレンジする年となる。

広告環境は依然と厳しい状況が続いていますが、この厳しい状況を積極的な機会と捉え、これまでの充実した活動内容を基礎として、広告業界の素早い変化に対応していくため、情報の収集と会員相互の意思疎通・協調を図り、「攻めの姿勢」で活動を進めていくことが説明された。

また、2018年度の担当業務（下記参照）が報告された。

総会終了後の懇親会では、新井健一郎JRR東日本常務取締役事業創造本部長はじめ多くの来賓をお招きし、総勢204名の参加者があり、盛会であった。

2018年度東広会役員名簿

4月20日(金)開催された東広会第15回定期総会・臨時理事会において承認された役員の内職・担当一覧

役職	氏名	社名	名担当
会長	原口 宰	(株)ジェイアール日本企画	
副会長	滝 久雄	(株)NK B	総括・広報
副会長	栗原 圭一	(株)ムサシノ広告社	媒体全般
副会長	阿部 晋治	(株)電通	総務全般
副会長	大塚 尚司	(株)オリコム	財務全般
専務理事	星野 雅央	(株)ジェイアール日本企画	
理事	神田橋 治	(株)T O M O E	総務担当
理事	細野 文隆	(株)ユーシン広告社	総務担当
理事	杉本 公男	協立広告(株)	車両メディア担当
理事	細野 顕宏	(株)JTBコミュニケーションデザイン	車両メディア担当
理事	大村寿一郎	(株)弘重社	車両メディア担当
理事	田草川 滋	(株)ニューアド社	車両メディア担当
理事	北 康夫	(株)博報堂D Yメディアパートナーズ	車両メディア担当
理事	中村 晃	(株)日交	車両メディア担当
理事	望月 敏弘	(株)春光社	車両メディア担当
理事	稲川 一	(株)文宣	サインボード担当
理事	中橋 光	(株)大晃	サインボード担当
理事	関 学	(株)星広	サインボード担当
理事	高橋 源治	(株)共和企画	サインボード担当
監事	石原 能郎	(株)東広	総務担当
監事	関野 茂	(株)日本スタデオ	車両メディア担当

品川駅「フラッグ」、「東京中央通路電照デジタルシートセット」、「新橋地下通路デジタルシートセット」と「トレインチャンネル」を活用した展開を実施

品川駅「フラッグ」、「東京中央通路電照デジタルシートセット」、「新橋地下通路デジタルシートセット」と「トレインチャンネル」を活用した展開が実施された。

品川駅は全日本空輸株式会社で、広告主は全日本空輸株式会社で、「ANA Wi-Fi Service」のPRが行われた。

品川駅中央改札内において大型サイズで3面連続掲出できる「フラッグ」、東京駅中央通路においてJ・ADビジョンとシート広告を同時展開できる「東京中央通路電照デジタルシートセット」、新橋駅汐留口改札外地下通路においてJ・ADビジョンとシート広告を同時展開できる「新



品川駅フラッグ

橋地下通路デジタルシートセット」と山手線等9路線で放映される「トレインチャンネル」を活用した展開が行われた。

駅メディアと車両サインを連動させることにより、駅構内や電車内等様々なシーンで連続的な広告展開が行われた。

展開期間は品川駅「フラッグ」は4月9日(月)から4月15日(日)まで、「東京中央通路電照デジタルシートセット」「新橋地下通路デジタルシートセット」が4月2日(月)から4月15日(日)まで、「トレインチャンネル」が4月2日(月)から4月15日(日)まで。



東京中央通路電照デジタルシートセット

J企2017年度下半期インセンティブ報奨42社の受賞決まる

2017年度下半期インセンティブ報奨受賞の広告会社がこのほど決まり、5月15日(火)ホテルメトロポリタンエドモントで報奨式が実施された。今回の受賞広告会社は42社となった。

このインセンティブ報奨は、JR東日本交通媒体の販売に大きく貢献した広告会社を対象に、上半期(4月～9月)・下半期(10月～3月)の2期に分けて実施されている。



報奨式で挨拶する原口宰ジェイアール東日本企画代表取締役社長

2017年度のインセンティブ報奨は「重点商品販売」「対前年売上超過額」「売上高順位」の3つを算定基準にして報奨額が決められている。

算定基準の詳細については、メディアアガダンスに掲載されているが、特に「重点商品販売」は2017年度の施策にあわせて対象となる商品が設定されている。重点商品や企画商品の販売に積極



報奨式後の懇親会で挨拶する橋修ジェイアール東日本企画常務取締役交通媒体本部長

的に取り組み、売上に貢献した広告会社42社が2017年度下半期のインセンティブ報奨を受賞することとなった。

J企では、さらなるJR交通広告の販売拡大に向け、より多くの広告会社が受賞されることを期待している。

○受賞広告会社(五十音順)※敬称略

- (株)アサツーディ・ケイ (株)朝日広告社
- (株)アドスマイル (株)アド・ボード
- (株)ウォータックインターナショナル
- (株)栄宣 (株)NKB (株)小田急エージェンシー (株)オリコム (株)皆成
- (株)角川メディアハウス (株)キョウエイアドインターナショナル 協立広告(株) (株)共和企画 (株)近宣 (株)クオラス (株)京王エージェンシー (株)ケシオン (株)弘亜社 (株)サンエイ企画
- (株)ジェイアール東海エージェンシー
- (株)JTBコミュニケーションデザイン
- (株)春光社 スバル広告(株) (株)大晃
- (株)電通 (株)東急エージェンシー
- (株)TOMOE 長田広告(株) (株)日交
- (株)日交宣伝社 (株)日本経済広告社
- (株)日本スタデオ (株)ニューアド社
- (株)博報堂DYメディアパートナーズ
- 表示灯(株) (株)文宣 (株)ムサシノ広告社 (株)メトロアドエージェンシー
- (有)横浜通信社 (株)リード (株)ルミネ
- アソシエーツ

3線群「中ぶりワイド」で特殊加工ポスターの展開を実施

3線群「中ぶりワイド」において、特殊加工ポスター広告が展開された。広告主はキリンビール株式会社で、「ブランドキリン」シリーズ缶商品のPRを行った。

今回の展開は、「中ぶりワイド」のデザインにあわせてポスターの一部が切り取られる特殊加工が施され、アイキャッチ効果の高いものとなっており、3線群利用者の関心を集めた。

展開期間は4月2日(月)から4月8日(日)まで。



3線群中ぶりワイド特殊加工ポスター

恵比寿駅で駅メディアの集中展開を実施

恵比寿駅においてSPメディア「ホームドアシート」「フラッグ」「フロア広告」「集中貼り」と「J・ADビジョン」を活用した集中展開が実施された。

広告主は株式会社アルビオンで、セレクトコスメショップ「アルビオンドレッシング」のPRが行われた。

恵比寿駅山手ホームドアにシート「ホームドアシート」のPRが行われた。ト、恵比寿駅東口改札内の空間をジャックできる「フラッグ」、恵比寿駅東口改札外の床面を活用した「フロア広告」、恵比寿駅の階段壁面部に集中展開できる「集中貼り」と恵比寿駅西口改札外の通路に連続的な



恵比寿駅ホームドアシート



恵比寿駅フラッグ

広告訴求が可能な「J・ADビジョン」を活用した広告展開が行われた。

恵比寿駅の複数の駅メディアを連動させることにより、通路や階段、ホーム上等様々なシーンでの広告訴求が可能となり、恵比寿駅利用者の動線に沿ったインパクトのある集中展開が行われた。

展開期間は「ホームドアシート」が3月30日(金)から4月14日(土)まで、「フラッグ」が3月31日(土)から4月13日(金)まで、「フロア広告」が3月31日(土)から4月13日(金)まで、「集中貼り」が4月2日(月)から4月15日(日)まで、「J・ADビジョン」が4月1日(日)から4月30日(月)まで。

「東京ブライトピラー」の展開を実施

東京駅において「東京ブライトピラー」の展開が実施された。

広告主は関西テレビ放送株式会社で、新番組「シグナル」のPRが行われた。

「東京ブライトピラー」は、東京駅八重洲中央改札内の柱にB0サイズで38面のポスターを掲出できるインパクトのあるメディアであり、八重洲中央改札内通路をジャックした今回の展開は、東京駅利用者の関心を集めた。

展開期間は4月2日(月)から4月8日(日)まで。



東京ブライトピラー

現車訓練行われる

広告関係の作業に携わる工事管理者並びに列車見張員を対象に、線路近接工事・意匠交換作業における運転及び傷害事故防止等、作業員の安全確保を目的とした「広告作業安全講習会（現車訓練）」が5月22日(火)東大宮のJR東京・大宮総合訓練センターで行われ、今一度、原点に立ち返り、更なる訓練内容の充実を図った。

講習会には、作業協力会社、JR事業創造本部及び各支社事業部、J企交通媒体本部、JR東日本メディアの総勢46名の関係者が参加し、工事管理者等の任務としての心得、また現地では実際に電車を走らせ、基本動作訓練、待避完了合図訓練、列車停止合図訓練など、本番さながらの緊迫した中で繰り返し訓練が行われ、安全確保に対する必要な知識を再認識した。

会員名簿変更

・FAX番号変更

(株)アサツーデイ・ケイ (4月16日付)

FAX 03・5253・6426

・社名、電話・FAX番号変更

(新) 株電通イースリー (5月1日付)

電話 070・6407・8794

FAX 設置なし

(旧) 電通ヤング・アンド・ルビカム(株)